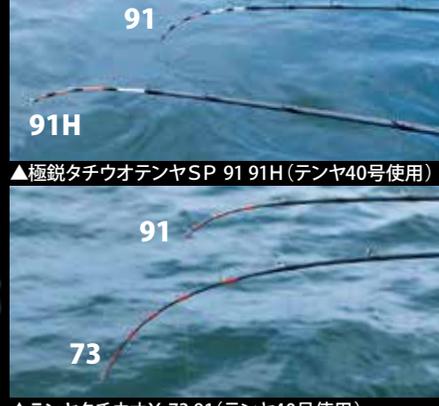


極鋭タチウオテンヤSP 91H-165AGS

●感度と操作性に優れたテンヤ釣法の最先端をいく極鋭タチウオテンヤに新しく追加された1.65mのショートレンジモデル。思い通りのアクションとフッキングを可能にする9:1調子でESS、A GS、X 45 などによる軽量高感度、持ち重りを軽減するゼロシートなどを搭載。

■SPEC = 全長1.65m、継ぎ数2本、仕舞い寸法120cm、自重92g、メーカー希望本体価格5万2500円



▲極鋭タチウオテンヤSP 91 91H (テンヤ40号使用)

▲テンヤタチウオX 73 91 (テンヤ40号使用)

アナリスタータチウオテンヤ73-180

●テンヤタチウオのスタンダードモデル「アナリスタータチウオテンヤ」にも追加モデル73-180が発売された。浅場や軽量テンヤに向く7:3調子。

■SPEC = 全長1.8m、継ぎ数2本、仕舞い寸法95cm、自重110g、メーカー希望本体価格2万7700円



テンヤタチウオX 73-180、91-180

●入門者からベテランまで幅広く使える「テンヤタチウオX」にも7:3の乗せ調子と9:1の掛け調子2種の追加された。

■SPEC = 全長1.8m、継ぎ数2本、仕舞い寸法95cm、自重73/120g、91/127g、メーカー希望本体価格73/1万7200円、91/1万7500円



シーボーグ200JL-DH

●軽量化による感度アップはもちろん、アルミジョグダイヤル、ロープロならではのパーミング性能、ドラゴンにもひるまぬハイパワー仕様など、まさにタチウオに最適な機能が詰め込まれている。

■SPEC = ギア比5.1、巻き取り長さ55cm、自重490g (DHは485g)、最大ドラグ力10kg、最大巻き上げ力28kg (スーパーリチウム使用時31kg)、糸巻き量PE1.5号450m、2号300m、メーカー希望本体価格8万5000円。200J、200J-DH、200JL、200JL-DHの4アイテムあり



快適タチウオテンヤSSAG

★イワシエサのホールドカ、フォールスピードなどタチウオテンヤの長所を結集した最新モデル。9月より順次発売予定。

■SPEC = 40、50、60号、カラーは6色 (60号のみ3色) 3色のみ先行発売、メーカー希望本体価格1150~1320円



▶「91Hは攻めの竿ですね」と渡辺さん

快適がっちりホールド

★テンヤのアイに付けてイワシエサをしっかり固定するお助けパーツ。メーカー希望本体価格550円、徳用1100円。



アミノソルト 激バタチウオ

★イワシをしっかりと締め、魚の活性も上げる成分を配合。メーカー希望本体価格650円。



そろそろ合時到来



▲序盤は中小型がメインながらアタリは多かった

ある程度、当日の状況をつかめたのか、2時間ほどして2人は「極鋭タチウオテンヤSP」に新しく仲間入りした91H、165にチェンジする。わずか92グラムの超軽量設計、極先調子、ショートレンジの新製品は瞬時に掛けるフッキング性能、究極の手感度を実現した「攻めのタチウオテンヤ」モデルだ。

「活性の高いとき、ガンガン攻めて掛りまくっていくならこの竿です」と渡辺さん。

「アクションの最中でもしっかりとアタリを出してくれれます。トリナメントや関西方面での釣行にも最適な1本ですね」と高槻さん。

動画連動!

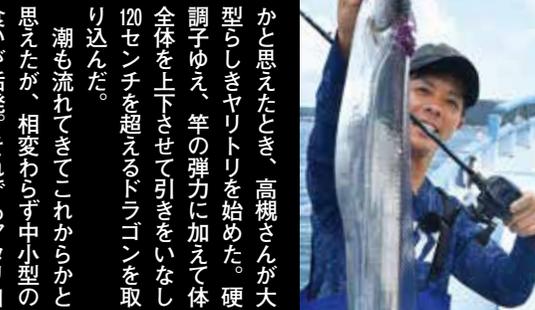


★当日の動画はダイワ「船最前線」よりご覧になれます。

かと思えたとき、高槻さんが大型らしきヤトリを始めた。硬調子ゆえ、竿の弾力に加えて全体を上下させて引きをいなし120センチを超えるドラゴンを取り込んだ。

潮も流れてきてこれからかと思えたが、相変わらず中小型の食いが活発。それでもアタリ自体は多いので、あれこれとテンヤカラーを替えたりして2人は楽しんで釣りに取り組んでいる。

13時ごろ、ようやく渡辺さんに大型らしきアタリ。ていねいに引きをかわして1メートルを超え、最後の1時間「アナリスタータチウオテンヤ」の追加バージョン73-180、同じく「テンヤタチウオX」の追加バージョン73-180、91-180などを使い回す。心地もよく、お買い得感ハッチリと気に入った様子だった。



▶高槻さんはテンヤタチウオXでも良型 (リールはライトゲームIC)

★渡辺さんが新製品、極鋭タチウオテンヤ91H-165で掛りまくる



東京湾のテンヤタチウオ 攻略の決め手は **ダイワ新製品**

★高槻さんが釣り上げた 当日最大のドラゴン

高槻慧、渡辺太吾の名手が披露 タチウオテンヤ新製品の實力

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.75

タチウオ最前線

at 三浦半島走水港出船



◎夏タチウオ最盛。今シーズンもテンヤタチウオファンを歓喜させるドラゴンサイズが活発に釣れている。今回は名手高槻慧、渡辺太吾の両氏がダイワから新しく発売されたテンヤタチウオロッド、用品などを使った実釣の模様をお届けする。テンヤファンにはお役立ち情報満載だ。

★注目の新製品「快適タチウオテンヤSSAG」は9月発売予定



DAIGO WATANABE D-Twitch KYOKUEI TACHIHO TENYA SP

渡辺太吾 Dトウィッチ 極鋭タチウオテンヤSP

SAITOSH TAKATSUKI NONSTOP VIBRATION ANALYSTAR TENYATACHIHO

高槻慧 クシストップバイブレーション アナリスターテンヤタチウオ

東京湾のテンヤタチウオ釣りを代表する名手、ノンストップバイブレーションの高槻慧、Dトウィッチの渡辺太吾の両氏がそろって釣行したのはテンヤ釣りの本場、三浦半島走水港の高取丸。ダイワのタチウオテンヤ新製品を携えての釣行である。

「連日好調とも言い切れないので、竿を下ろしてみないと分かりませぬね」

昨日も釣行したという渡辺さんは、まず使い慣れた「極鋭タチウオテンヤSP 91-180 AGS」を手にする。一方の高槻さんも、「まず様子見て82S-185を使ってみます」

いずれもリールは「シーボーグ200JL-DH」。そして2人が使用するテンヤも新製品、最先端の機能を集めた「快適タチウオテンヤSSAG」である。

7時15分に出船し、まずは走水沖の水深60メートル前後を狙う。指示ダナは40~55メートルと幅広い。

「このところ朝のうちは小型が多いんですけど」と渡辺さん。そのとおり、アタリがあっても掛からなかったり、ようやくハリ掛かりしても80~90センチ級が多い。しばらくは辛抱の釣りが続く。

「下げ潮が流れてくれば上向くと思うよ」と船長。